

タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 自由選択科目**」  
 シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	水5
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20140569061501	科目番号	05690615
授業科目名	●オランダの言語		
編集担当教員	山下 龍		
授業担当教員名(科目責任者)	山下 龍		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	山下 龍		
科目分類	自由選択科目、総合科学科目		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	講義科目
教室	[教養B棟]B-34		
対象学生（クラス等）	全学生		
担当教員Eメールアドレス	info@ryuumon.com		
担当教員研究室	非常勤講師控室		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	授業の前後		
授業の概要及び位置づけ	初級レベルのオランダ語入門講義です。 授業には、視聴覚教材も使用し、より分かりやすく、より楽しくオランダ語を学習することで、オランダ文化への興味を喚起させることをねらいとしています。		
授業到達目標	初級レベルのオランダ語ができるようにします。資料に示された約600語のオランダ語を修得します。		
授業方法（学習指導法）	ネイティブのオランダ人による日本語での講義。 この講義の為に作成した資料を活用し、聞く・話す・書くことを通して聴解・読解・文法を学びます。授業中に学習したことを家庭でCD-ROMを使用して復習してもらいます。		
授業内容	授業では、資料の第1課 自己紹介から始めます。家庭でCD-ROMを使いながら復習してもらいます。 基本の文法を会話の中に取り入れ、学生に会話をしながら自然に文法を身に付けます。指示された範囲や内容を復習して授業に参加してください。講義での演習とCD-ROMでの復習を通してオランダ語のリズムや音も学びます。また、この資料を用いて、簡単な文を書いてもらい、文法の練習も行います。		
	回	内容	
	1	自己紹介Ⅰ（現在形の作り方・動詞活用）	
	2	相手の事を尋ねるⅠ（一般疑問文・疑問詞を伴う疑問文）	
	3	相手の事を尋ねるⅡ（人称代名詞・否定文）	
	4	自己紹介Ⅱ（形容詞・副詞）	
	5	第1回～第4回の復習	
6	家族の紹介、時計を読む（比較級と最上級）		

	7	一日の予定（名詞の単数・複数形・時刻と場所）
	8	一週間の予定（助動詞の使い方）
	9	約束を交わす（勧誘表現）
	10	第5回～第8回の復習
	11	レストランでの会話（過去時制）
	12	相手の事を尋ねるⅢ（現在完了形）
	13	道を探ねる（命令形）
	14	第9回～第11回の復習
	15	講義の総括 会話の発表
	16	定期試験
キーワード		
教科書・教材・参考書		教材プリント配布 CD-ROM 100円
成績評価の方法・基準等		教材：プリント教材 毎回配布します。成績評価の方法・基準等 成績評価は、○定期試験70%、授業中の発表と提出物30%で行います。
受講要件（履修条件）		全回出席が原則。CD-ROMは必ず購入すること。
備考（URL）		
学生へのメッセージ		オランダ語という新しい言語を勉強する不安もあると思いますが、15回の講義でオランダ語の基本をしっかり、楽しく教えますので、是非挑戦してみてください。



タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 自由選択科目**」  
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	水5
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20140569000701	科目番号	05690007
授業科目名	●解放講座		
編集担当教員	阿南 重幸		
授業担当教員名(科目責任者)	阿南 重幸		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	阿南 重幸		
科目分類	自由選択科目、総合科学科目、A科目 総合科目		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	講義科目
教室	[教養G棟]G-3A		
対象学生（クラス等）	全学部		
担当教員Eメールアドレス	scykf338@yahoo.co.jp		
担当教員研究室	学外非常勤講師		
担当教員TEL	09045868939		
担当教員オフィスアワー	scykf338@yahoo.co.jp		
授業の概要及び位置づけ	21世紀は「人権の世紀」ともいわれる。本講座は、部落問題を中心に今日社会におけるさまざまな諸問題を、人権の視点で考察することを目的とする。		
授業到達目標	講座開設の意義を踏まえ、世界の人権状況、国内においては、部落問題・アイヌ問題・ハンセン病回復者への差別・在日外国人・冤罪事件の諸状況を歴史的に考察し、理解を深める。		
授業方法（学習指導法）	講義形式		
授業内容	人権に関する世界及び日本の歩みを振り返り、今なお存在する日本の人権課題について、学ぶことを目的とする。人権の観点から見た部落問題、アイヌ問題、在日外国人問題、ハンセン病に係わる問題や冤罪事件等を取り上げ、とくに部落問題ではあやまった歴史観を質したい。また、地域史として、長崎の被差別部落をキリスト教、原爆との関連において取り上げる。		
	回	内容	
	1	4月9日「解放講座」開設の意義について（藤澤秀雄）	
	2	4月16日 今なぜ人権教育か？ 「私たちの町再発見」（阿南重幸）	
	3	4月23日 変化する部落観（阿南重幸） ワークショップ「今なぜ人権教育か？」	
	4	4月30日 日本の近代化とアイヌ問題（阿南重幸）	
	5	5月7日 日本の近代化とアイヌ問題（阿南重幸）	
	6	5月14日 在日外国人の「国籍条項」（阿南重幸）	
	7	5月21日 在日外国人の「国籍条項」（阿南重幸）	
	8	5月28日 ハンセン病と差別（阿南重幸）	
9	6月4日 ハンセン病と差別（阿南重幸）		

	10	6月11日 教科書に見る部落問題 (阿南重幸)
	11	6月18日 教科書に見る部落問題 (阿南重幸)
	12	6月25日 部落の歴史を再考する (阿南重幸)
	13	7月2日 冤罪について、二・三の具体的事例を中心として (藤澤秀雄)
	14	7月9日 冤罪について、二・三の具体的事例を中心として (藤澤秀雄)
	15	7月16日 フィールドワーク「原爆と被差別部落とキリシタン」 (阿南重幸)
	16	
キーワード	知識・態度・技能	
教科書・教材・参考書	テキストは用いない。プリント、資料等を配布する。 ビデオ等を使用する。	
成績評価の方法・基準等	レポートの成績、出席状況を考慮して行う。 レポート 70 出席 30	
受講要件 (履修条件)		
備考 (URL)		
学生へのメッセージ	正確な知識を身に付けるようにしてください。また、毎回配布の資料等はファイルにとじて、持参するようにお願いします。	



タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 自由選択科目**」  
 シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	水5
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20140590090601	科目番号	05900906
授業科目名	●キャリア概論		
編集担当教員	深尾 典男		
授業担当教員名(科目責任者)	深尾 典男		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	深尾 典男		
科目分類	自由選択科目、総合科学科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[教養A棟]A-24		
対象学生（クラス等）	全学部		
担当教員Eメールアドレス	fukao@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	広報戦略本部（事務局棟2F）		
担当教員TEL	819-2008		
担当教員オフィスアワー			
授業の概要及び位置づけ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己と社会の関係について学ぶ</li> <li>・社会参画のために必要とされるスキルについて学ぶ</li> <li>・大学での学びが社会人としての素養にどのように関係するかを理解する</li> <li>・勤労観と職業観を育み、キャリアデザインのための考え方と行動につなげるための手法を身につける</li> </ul>		
授業到達目標	社会参画に対する意識を高めることを授業の狙いとする。授業を通して自らのキャリアデザインを行い、大学生活を通じた学びのために、学士課程教育で身につけるべき素養の目標設定を行う。		
授業方法（学習指導法）	教科書は用いず、配布する授業内容のレジュメに基づいて授業を進める。適宜、討論の時間を設け、受講生は授業内で発表を行う。多面的な知識、基本的な素養を身につけてもらうため、ゲスト講師も招聘する予定。		
授業内容	回	内容	
	1	キャリア概論の概要と狙い	
	2	社会理解1（業種・職種の理解）	
	3	社会参画で求められる素養1	
	4	社会参画で求められる素養2	
	5	社会理解2	
	6	社会理解3	
	7	社会参画で求められる素養3	
	8	社会参画で求められる素養4	
	9	能力を高める1（就活の現場から）	

	10	能力を高める2 (文章能力)
	11	能力を高める3 (プレゼンテーション)
	12	能力を高める4 (コミュニケーション)
	13	キャリアプランの作成
	14	キャリアプランの発表1
	15	キャリアプランの発表2
	16	
キーワード	キャリア、社会人基礎、コミュニケーション、プレゼンテーション	
教科書・教材・参考書	教科書は用いず、授業計画に沿ってパワーポイント等を使用して講義を行う。関係する資料等については、eラーニングシステムを利用して配布する。参考文献は適宜紹介する。	
成績評価の方法・基準等	出席状況と受講態度、予習・復習の状況、レポートの提出状況を総合的に評価する。	
受講要件 (履修条件)	全講義を出席できることを受講要件とする。	
備考 (URL)		
学生へのメッセージ		



タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 自由選択科目**」  
 シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	水5
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20140569062801	科目番号	05690628
授業科目名	●長崎学		
編集担当教員	姫野 順一		
授業担当教員名(科目責任者)	姫野 順一		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	姫野 順一, 野上 建紀		
科目分類	自由選択科目、総合科学科目		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	講義科目
教室	[教養A棟]A-21		
対象学生（クラス等）	全学部		
担当教員Eメールアドレス	himeno@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室			
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	授業終了後		
授業の概要及び位置づけ	長崎の多様な機能と歴史的成り立ちを長崎学という地域学の体系で理解する。		
授業到達目標	長崎検定に挑戦できる学生の育成をめざす。		
授業方法（学習指導法）	文書、絵画、古写真、器物,などに触れながら、長崎を体系的に学習する。		
授業内容	回	内容	
	1	長崎の歴史と長崎学	
	2	長崎の誕生	
	3	南蛮貿易と長崎	
	4	唐人貿易と長崎	
	5	長崎の海底遺跡	
	6	長崎の陶磁器産業	
	7	長崎と陶磁器貿易	
	8	長崎とガレオン貿易	
	9	出島の誕生と機能	
	10	蘭学物語	
	11	長崎版画に見るエキゾチシズム	
	12	外国人居留地の形成	

	13	坂本龍馬の長崎訪問
	14	写真の伝来
	15	古写真に見る長崎の世界性
	16	
キーワード	日蘭交渉、日中交渉、出島、蘭学、通詞、古写真、居留地、坂本龍馬、長崎学、原爆	
教科書・教材・参考書	参考書：姫野順一編『出島と西南雄藩』（九州大学出版会）、姫野順一著『龍馬が見た長崎』（朝日選書）、『長崎市史』（長崎市）	
成績評価の方法・基準等	毎回講義の概要をまとめ講義に対する感想を書いて提出する。 長崎に関するテーマを自分で決めて、最終レポートを提出する。	
受講要件（履修条件）		
備考（URL）		
学生へのメッセージ	図書館の郷土資料コーナーやネットで関連することを調べる習慣をつける。	





タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 自由選択科目**」  
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	水5
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20140590090501	科目番号	05900905
授業科目名	●平和講座		
編集担当教員	戸田 清		
授業担当教員名(科目責任者)	戸田 清		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	戸田 清,黒滝 直弘, 安部 俊二, 篠崎 正人		
科目分類	自由選択科目、総合科学科目、A科目 総合科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[教養B棟]B-44		
対象学生（クラス等）	全学部、1年、2年、3年、4年		
担当教員Eメールアドレス	toda@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	環境科学部4階環404戸田教員室		
担当教員TEL	095-819-2726		
担当教員オフィスアワー	金曜16-17時		
授業の概要及び位置づけ	長崎大学文教キャンパスは三菱兵器製作所大橋工場の跡地であり、ここでは学徒動員令や女子挺身動員令などによって動員された多くの若者たちが航空機用魚雷の生産に従事中、原爆によって、その多くが爆死した。敗戦後、日本人は「人間相互の関係を支配する崇高な理想を自覚し、国家再建の基礎を人類普遍の原理に求めて戦争を放棄し、平和を愛する諸国民の公正と信義に信頼して安全と生存を保持しよう」と決意した。本講座は、その決意を受け継ぎ、平和を愛し探究心に富む学生諸君の思索と生活の原点に資すべく、戦争・暴力・平和についての基礎的資料と基本的な分析理論を提供しようとするものである。		
授業到達目標	戦争の実態、暴力と平和についての認識を深め、世界の情勢を深く理解し、基本的人権を尊重して自由と平和と平等を愛する文化国家の建設に努める態度を身につける。		
授業方法（学習指導法）	各講義ごとに、担当講師が講義に使用するプリントを用意し、講義を行う。講師によっては、ビデオ・DVD・スライドなども利用する。		
授業内容	講義内容は多岐にわたるので、以下のように各講師がそれぞれテーマを掲げて講義する。		
	回	内容	
	1	4月9日 戸田 ナガサキから平和学する。原爆の非人道性と違法性（戦争犯罪）。核兵器と核発電。	
	2	4月16日 戸田 日本とドイツの戦争犯罪	
	3	4月23日 戸田 米国の戦争犯罪 原爆、ベトナム枯葉作戦、劣化ウラン弾	
	4	4月30日 安部俊二 近代日本の教育（小学校）	
	5	5月7日 安部 近代日本の教育（大学）	
	6	5月14日 安部 近代日本の教育（軍隊1）	
	7	5月21日 安部 近代日本の教育（軍隊2）	
	8	5月28日 安部 私の被爆体験 池田早苗さん証言	

	9	6月4日 安部 私の被爆体験 西山進さん証言
	10	6月11日 西岡由香 世界から見たナガサキ 90分間世界一周
	11	6月18日 西岡 いのちを守るまちづくり
	12	6月25日 篠崎正人 有事体制と長崎・佐世保①
	13	7月2日 篠崎 有事体制と長崎・佐世保②
	14	7月9日 黒滝直弘 健康格差について①
	15	7月16日 黒滝 健康格差について②
	16	定期試験は行いません
キーワード	戦争、暴力、平和、格差、原爆、原発、アヘン、枯葉剤、劣化ウラン、有事体制、イラク戦争、構造的暴力	
教科書・教材・参考書	特定の教科書は用いないが、プリント資料を適宜配布し、またスライド、DVD、ビデオなどを利用して、講義の理解を深めるのに役立つ。参考書は高橋・舟越編『ナガサキから平和学する』法律文化社2009年、戸田清『核発電を問う』法律文化社2012年、など。	
成績評価の方法・基準等	出席を欠かさず、受講することを重視する立場から、講義への取り組みの積極性と担当講師が課したレポートの作成を総合的に評価する。	
受講要件（履修条件）	受講要件は特にない。	
備考（URL）	<a href="http://todakiyosi.web.fc2.com/">http://todakiyosi.web.fc2.com/</a>	
学生へのメッセージ	被爆地の大学に学ぶ学生として、書籍、新聞、テレビ、インターネットなどを通じて戦争と平和、暴力と平和をめぐる世界と日本の動向に関心を持ってほしい。	



タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 旧カリ科目**」  
 シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	火3
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	201405900908Q2	科目番号	05900908
授業科目名	●口の健康・体の健康(口と疾患)		
編集担当教員	吉村 篤利		
授業担当教員名(科目責任者)	吉村 篤利		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	吉村 篤利, 柳口 嘉治郎, 黒木 唯文		
科目分類	A科目 総合科目、総合科学科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[教養A棟]A-12		
対象学生（クラス等）	工・環		
担当教員Eメールアドレス	ayoshi@(吉村), kurofumi@(黒木), yanagi@(柳口)		
担当教員研究室	歯周病学准教授・講師室(吉村), 歯科補綴学教員室(黒木), 齲蝕学准教授・講師室(柳口)		
担当教員TEL	819-7682(吉村), 819-7693(黒木), 819-7678(柳口)		
担当教員オフィスアワー	9:00-17:00		
授業の概要及び位置づけ	顎関節障害、咀嚼障害、齲蝕、歯周病などの口の疾患の原因と症状、治療法、予防法について理解し、口の健康維持について必要な知識を健康増進に活かす。		
授業到達目標	口の疾患の原因と症状、治療法、予防法について説明できる。		
授業方法（学習指導法）	講義形式、小グループ討論形式、全体発表		
授業内容	1回目 顎関節障害・咀嚼障害（1）（黒木唯文） 2回目 顎関節障害・咀嚼障害（2）（黒木唯文） 3回目 顎関節障害・咀嚼障害（3）（黒木唯文） 4回目 顎関節障害・咀嚼障害（4）（黒木唯文） 5回目 齲蝕の原因と症状（1）（柳口嘉治郎） 6回目 齲蝕の原因と症状（2）（柳口嘉治郎） 7回目 齲蝕の治療と予防（1）（柳口嘉治郎） 8回目 齲蝕の治療と予防（2）（柳口嘉治郎） 9回目 齲蝕の治療と予防（3）（柳口嘉治郎） 10回目 歯周病の症状と治療（1）（吉村篤利） 11回目 歯周病の症状と治療（2）（吉村篤利） 12回目 歯周病の症状と治療（3）（吉村篤利） 13回目 歯周病の症状と治療（4）（吉村篤利） 14回目 歯周病の症状と治療（5）（吉村篤利） 15回目 歯周病の症状と治療（6）（吉村篤利）		
キーワード	顎関節障害・咀嚼障害・齲蝕・歯周病		
教科書・教材・参考書	教科書は特に使用しない。参考書は、授業を進めて行く中で、適宜紹介する。		
成績評価の方法・基準等	レポートなどの提出物、口頭試問、発表態度、試験		
受講要件（履修条件）	開講された講義の3分の2以上に出席している者		

備考 (URL)	
学生へのメッセージ	モジュールIで学習した内容は、復習しておくこと。



---

Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.

タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 旧カリ科目**」  
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	火3
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	201405690023Q1	科目番号	05690023
授業科目名	●トレーニングの科学(青年期の健康・体力増進)		
編集担当教員	中垣内 真樹		
授業担当教員名(科目責任者)	中垣内 真樹		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	中垣内 真樹,永江 誠治,山崎 浩則		
科目分類	総合科学科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[教養A棟]A-43		
対象学生（クラス等）			
担当教員Eメールアドレス	gaichi@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	医学部保健学科体育館2F中垣内研究室		
担当教員TEL	095-819-7966		
担当教員オフィスアワー	月曜日 10:30~12:30、16:00~17:00		
授業の概要及び位置づけ	青年期にある大学生にとっての健康とは何かを学び、健康・体力増進のための体力トレーニング、スポーツ、食生活、メンタルヘルス等について理解する。		
授業到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 身体活動と食事のセルフチェックができる。</li> <li>2. 青年期における健康づくりの意義について理解する。</li> <li>3. 精神的な健康について理解する。</li> <li>4. 健康における運動、スポーツの意義について理解する。</li> </ol>		
授業方法（学習指導法）	講義にグループワーク、討論、演習、地域イベント参加等を取り入れ、自ら考え、行動する学習方法を身につける。		
授業内容	回	内容	
	1	4月8日 青年期に健康を考える～医療の観点から～ 山崎浩則（保健・医療推進センター）	
	2	4月15日 青年期に健康を考える～ヘルスプロモーションの観点から～ 中垣内真樹（保健学科）	
	3	4月22日 青年期の体力・体力トレーニングについて学ぶⅠ 中垣内真樹（保健学科）	
	4	5月13日 青年期の体力・体力トレーニングについて学ぶⅡ 中垣内真樹（保健学科）	
	5	5月20日 青年期の体力・体力トレーニングについて学ぶⅢ 中垣内真樹（保健学科）	
	6	5月27日 青年期の体力・体力トレーニングについて学ぶⅣ 中垣内真樹（保健学科）	
	7	6月3日 健康のための食生活について学ぶⅠ ゲストスピーカー 松本妙子（栄養士）	
	8	6月10日 健康のための食生活について学ぶⅡ ゲストスピーカー 松本妙子（栄養士）	
	9	6月17日 健康のための食生活について学ぶⅢ ゲストスピーカー 松本妙子（栄養士）	
	10	6月24日 青年期のメンタルヘルスについて学ぶⅠ 永江誠治（保健学科）	

	11	7月1日 青年期のメンタルヘルスについて学ぶⅡ 永江誠治（保健学科）
	12	7月8日 地域の運動・健康づくりイベントへの参加Ⅰ（チャレンジデーなど） 中垣内真樹（保健学科）
	13	7月15日 地域の運動・健康づくりイベントへの参加Ⅱ（チャレンジデーなど） 中垣内真樹（保健学科）
	14	7月22日 地域の運動・健康づくりイベントへの参加Ⅲ（チャレンジデーなど） 中垣内真樹（保健学科）
	15	7月29日 地域の運動・健康づくりイベントへの参加Ⅳ（チャレンジデーなど） 中垣内真樹（保健学科）
	16	8月5日 青年期の健康・体力についてのGW・まとめ 中垣内真樹（保健学科）
キーワード	健康、体力、スポーツ、食事、メンタルヘルス、ヘルスポロモーション	
教科書・教材・参考書		
成績評価の方法・基準等	授業へ臨む態度、グループワーク・討論での積極性、発表およびレポート内容を総合して評価する。	
受講要件（履修条件）		
備考（URL）		
学生へのメッセージ		



タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 旧カリ科目**」  
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	木4
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	201405690014Q1	科目番号	05690014
授業科目名	●暮らしと地球環境学(環境リスクと社会)		
編集担当教員	早瀬 隆司		
授業担当教員名(科目責任者)	早瀬 隆司		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	早瀬 隆司		
科目分類	総合科学科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[教養A棟]A-33		
対象学生（クラス等）			
担当教員Eメールアドレス	t-hayase@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	環境432		
担当教員TEL	095-819-2721		
担当教員オフィスアワー	水 10:00-12:00		
授業の概要及び位置づけ	環境汚染物質のリスクについて、リスクアセスメントの実際を通して科学や政治との関係について学び、それをもとに公共性の観点から環境リスクの管理のあり方について考えさせることをねらいとする。		
授業到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>①リスクの主観的側面の大きさを理解する。</li> <li>②リスクアセスメントや環境科学に含まれる科学的不確実性の存在を理解する。</li> <li>③専門家主義と公共性との間の競合を理解する。</li> <li>④リスク管理における、市民の責任を理解する。</li> </ol>		
授業方法（学習指導法）	<p>以下の各項目に関する基礎的知識を学び、それについてグループで考察や議論を進める。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①リスクの主観性</li> <li>②環境リスクのリスクアセスメントについての基礎的な手法</li> <li>③リスクアセスメントに含まれる科学的不確実性</li> <li>④環境政策と公共性</li> <li>⑤リスク情報の、環境リスク管理のための政策への活用</li> </ol>		
授業内容	<p>第1回 「リスクは心の中にある」個人リスクと社会リスク  第2回 水俣足尾  第3回 科学技術と社会  第4回 インドネシアの経験「格差」及び「自己責任」  第5回 公害リスクから環境リスク  第6回 環境の保全と環境保全上の支障の防止  第7回 科学的不確実性（化学物質）  第8回 科学的不確実性（化学物質、ダイオキシン）  第9回 科学的不確実性（化学物質まとめ）マサチューセッツ予防原則プロジェクト  第10回 同上  第11回 科学的不確実性（温暖化問題）環境リスクの概念の拡張と不確実性の拡大IPCC  第12回 政策決定における科学と価値 科学技術と公共性（小林論文）</p>		

	第13回 寺尾論文 第14回 内藤論文 第15回 まとめ 環境にやさしいを考える（おむつのLCA） 科学技術で解決するか？誰がリスクやその要因である科学を管理すべきか？
キーワード	リスク、科学的不確実性、政治、公共性、公平
教科書・教材・参考書	参考書「地域環境政策」ISBN978-4-623-06357-4 資料 配布します。
成績評価の方法・基準等	試験及び授業への取り組み態度
受講要件（履修条件）	
備考（URL）	
学生へのメッセージ	





タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 旧カリ科目**」  
 シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	金 4
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	201405690012Q1	科目番号	05690012
授業科目名	●防災科学(自然災害とインフラ長寿命化)		
編集担当教員	松田 浩		
授業担当教員名(科目責任者)	松田 浩		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	松田 浩, 森田 千尋, 蔣 宇静		
科目分類	総合科学科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[教養A棟]A-33		
対象学生 (クラス等)	2年次生		
担当教員Eメールアドレス	matsuda@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	工学部1号館6階		
担当教員TEL	095-819-2590		
担当教員オフィスアワー	金曜日6時間目		
授業の概要及び位置づけ	本授業は、台風、水害などの自然災害におけるリスク管理と防災計画を理解するとともに、膨大な数のインフラ構造物の劣化・老朽化状況を把握しインフラ長寿命化の意義を理解する。この授業を通して、自然災害に遭遇した際、インフラ構造物の劣化・損傷を発見した際に、将来実社会で遭遇しうる際に役立つ知識を修得することがてることが本授業のねらいである。		
授業到達目標	自然災害におけるリスク管理と防災計画を理解するとともに、膨大な数のインフラ構造物の劣化・老朽化状況を把握しインフラ長寿命化の意義を理解する。そしてこのような事象に遭遇した際の対処方法を習得することを到達目標とする。		
授業方法 (学習指導法)	本授業では、PowerPointを用いたプレゼンテーション形式で授業を進めるとともに、ビデオ等も用いて理解を深める。 本授業では、講義、グループ活動、発表を通して「自然災害と防災」および「社会インフラ構造物の長寿命化」についての知識を深めていく。初めの数回は、講義形式の授業を数回取り入れ、この授業における前提の知識を得る。その後は、1グループ5名ほどのチームに分かれ発表に向けた調査を行う。調査では、図書館やインターネットで情報収集をし、チーム内で議論をしながら発表準備を行う。発表では、調査結果を報告するだけでなく、他のグループを評価しながら、新たな知識を身につけていく。		
	[ ]内の数字は第何回目の講義であるかの目安。( )は到達目標。 ① ガイダンス ----- [自然災害と防災] ----- ② 自然災害概論と防災の考え方 (日本の 自然災害の特徴と防災・減災の考え方) ③ 防災・減災のための社会システム (災害対策基本法、防災情報システム、気象警報等)		

授業内容	<p>④ 地域防災計画 (避難計画、ハザードマップ、自助・公助、高齢者等の避難)</p> <p>⑤ 地震・津波・火山災害と防災対策 (災害による現象・被害と防災対策)</p> <p>⑥ 豪雨・台風・高潮災害と防災対策 (災害による現象・被害と防災対策)</p> <p>⑦ 土砂災害と防災対策 (斜面崩壊、地すべり、土石流、液状化)</p> <p>⑧ インフラと防災対策 (モニタリング、リアルタイム防災、道路災害等)</p> <p>-----</p> <p>[インフラ長寿命化]</p> <p>-----</p> <p>⑨ 長崎県内の橋</p> <p>⑩ 橋を強くさせるためには</p> <p>⑪ ペーパーブリッジコンテスト (強い橋を考える)</p> <p>⑫ ペーパーブリッジコンテスト (強い橋を作る)</p> <p>⑬ ペーパーブリッジコンテスト (コンテスト) 特別講師：高橋和雄</p> <p>⑭ 「橋は大丈夫か」「巨大都市再生への道」 特別講師：高橋和雄</p> <p>⑮ 「観光ナガサキを支える“道守”養成ユニット」 特別講師：高橋和雄</p> <p>-----</p> <p>⑯ 試験</p>
キーワード	自然災害、リスク管理、防災計画、社会インフラ構造物、劣化・老朽化、インフラ長寿命化
教科書・教材・参考書	<p>[自然災害と防災] 高橋裕:川と国土の危機、岩波書店、ここの講義についてはプリント配布(高橋)</p> <p>[インフラ長寿命化] なし、必要に応じてプリント配布。</p>
成績評価の方法・基準等	レポート、グループプレゼンテーションの発表内容、最終試験(担当者で異なる。授業のはじめに連絡予定)で評価する。
受講要件 (履修条件)	モジュールⅠを受講していること。
備考 (URL)	
学生へのメッセージ	



タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 自由選択科目**」  
 シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	水5																
開講期間																			
必修選択	選択	単位数	2.0																
時間割コード	20140569061401	科目番号	05690614																
授業科目名	●オランダの文化																		
編集担当教員	山下 龍																		
授業担当教員名(科目責任者)	山下 龍																		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	山下 龍																		
科目分類	自由選択科目、総合科学科目																		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	講義科目																
教室	[教養A棟]A-41																		
対象学生（クラス等）	全学生																		
担当教員Eメールアドレス	noboruy@nagasaki-u.ac.jp																		
担当教員研究室	言語教育研究センター																		
担当教員TEL	095-819-2080																		
担当教員オフィスアワー	授業の前後																		
授業の概要及び位置づけ	日本と北ヨーロッパの中心国の一つとして発展してきたオランダとの交流が江戸初期に長崎から始まり、その交流が現在まで400年以上続いています。この講義ではオランダの文化と歴史を中心に、北ヨーロッパの歴史的発展、または、長崎と深い関わりのある日蘭交流について、基本的な知識の修得と文化理解を目的とします。																		
授業到達目標	オランダ・北ヨーロッパの文化と歴史、または、日蘭交流についての基本的な知識を修得します。																		
授業方法（学習指導法）	講義形式 この講義の為に作成した資料や視聴覚教材（powerpoint）を利用して、世界史が得意ではない学生にも、より分かりやすく、オランダの文化と歴史を紹介します。																		
授業内容	<p>ローマ時代前から現在までの歴史上の出来事を説明しながら、オランダの国とその発展を理解させます。オランダを知ることによって北ヨーロッパの文化の発展も理解することができます。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>オランダの紹介</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>9世紀までのオランダ ローマ帝国時代・キリスト教の流布・カール大帝の文化ルネッサンス</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>15世紀までのオランダ オランダ語文学の誕生・貿易国としての発展</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>16世紀までのオランダ エラスムスとヒューマニズム・ルターとプロテスタント教</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>16世紀までのオランダ オランダの独立戦争・ネーデルランデン7州連邦共和国の誕生</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>16世紀までのオランダ 15・16世紀の芸術家たち（ファン・エイク、ブリュゲルなど）</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>17世紀のオランダ オランダ東インド会社の創立・日蘭交流</td> </tr> </tbody> </table>			回	内容	1	オランダの紹介	2	9世紀までのオランダ ローマ帝国時代・キリスト教の流布・カール大帝の文化ルネッサンス	3	15世紀までのオランダ オランダ語文学の誕生・貿易国としての発展	4	16世紀までのオランダ エラスムスとヒューマニズム・ルターとプロテスタント教	5	16世紀までのオランダ オランダの独立戦争・ネーデルランデン7州連邦共和国の誕生	6	16世紀までのオランダ 15・16世紀の芸術家たち（ファン・エイク、ブリュゲルなど）	7	17世紀のオランダ オランダ東インド会社の創立・日蘭交流
回	内容																		
1	オランダの紹介																		
2	9世紀までのオランダ ローマ帝国時代・キリスト教の流布・カール大帝の文化ルネッサンス																		
3	15世紀までのオランダ オランダ語文学の誕生・貿易国としての発展																		
4	16世紀までのオランダ エラスムスとヒューマニズム・ルターとプロテスタント教																		
5	16世紀までのオランダ オランダの独立戦争・ネーデルランデン7州連邦共和国の誕生																		
6	16世紀までのオランダ 15・16世紀の芸術家たち（ファン・エイク、ブリュゲルなど）																		
7	17世紀のオランダ オランダ東インド会社の創立・日蘭交流																		

	8	17世紀のオランダ 黄金時代の芸術（レンブラント・フェルメールなど）・世界貿易中心のオランダ
	9	17世紀のオランダ 黄金時代の学者たち・黄金時代の英雄たち・奴隷制
	10	第10課 18・19世紀のオランダ ナポレオンの時代・ネーデルラント王国の誕生
	11	19・20世紀のオランダ ゴッホの芸術・女性権利運動・第1次世界大戦・20世紀の芸術（モンドリアンなど）
	12	20世紀のオランダ 第2次世界大戦・インドネシアの独立
	13	オランダの宗教・祭り・伝統
	14	オランダの教育・政治・世界の中のオランダ
	15	講義の総括
	16	定期試験
キーワード		
教科書・教材・参考書	教材：プリント教材 毎回配布します。	
成績評価の方法・基準等	成績評価の方法・基準等 成績評価は、○定期試験70%、授業中の提出物30%で行います。	
受講要件（履修条件）	全回出席が原則	
備考（URL）		
学生へのメッセージ	講義の内容をしっかりと聞き、渡された教材を予習・復習すれば、オランダや西欧の文化と歴史を広く、楽しく理解できるようになります。	



タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 自由選択科目**」  
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	水5
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20140569000702	科目番号	05690007
授業科目名	●解放講座		
編集担当教員	阿南 重幸		
授業担当教員名(科目責任者)	阿南 重幸		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	阿南 重幸		
科目分類	自由選択科目、総合科学科目、A科目 総合科目		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	講義科目
教室	[教養G棟]G-38		
対象学生（クラス等）	全学部		
担当教員Eメールアドレス	scykf338@yahoo.co.jp		
担当教員研究室	学外非常勤講師		
担当教員TEL	09045868939		
担当教員オフィスアワー	scykf338@yahoo.co.jp		
授業の概要及び位置づけ	21世紀は「人権の世紀」ともいわれる。本講座は、部落問題を中心に今日社会におけるさまざまな諸問題を、人権の視点で考察することを目的とする。		
授業到達目標	講座開設の意義を踏まえ、世界の人権状況、国内においては、部落問題・アイヌ問題・ハンセン病回復者への差別・在日外国人・冤罪事件の諸状況を歴史的に考察し、理解を深める。		
授業方法（学習指導法）	講義形式		
授業内容	人権に関する世界及び日本の歩みを振り返り、今なお存在する日本の人権課題について、学ぶことを目的とする。人権の観点から見た部落問題、アイヌ問題、在日外国人問題、ハンセン病に係わる問題や冤罪事件等を取り上げ、とくに部落問題ではあやまった歴史観を質したい。また、地域史として、長崎の被差別部落をキリスト教、原爆との関連において取り上げる。		
	回	内容	
	1	10月1日「解放講座」開設の意義について（藤澤秀雄）	
	2	10月8日 今なぜ人権教育か？ 「私たちの町再発見」（阿南重幸）	
	3	10月15日 変化する部落観（阿南重幸） ワークショップ「今なぜ人権教育か？」	
	4	10月22日 日本の近代化とアイヌ問題（阿南重幸）	
	5	10月29日 日本の近代化とアイヌ問題（阿南重幸）	
	6	11月5日 在日外国人の「国籍条項」（阿南重幸）	
	7	11月12日 在日外国人の「国籍条項」（阿南重幸）	
	8	11月19日 ハンセン病と差別（阿南重幸）	
9	11月26日 ハンセン病と差別（阿南重幸）		

	10	12月3日 教科書に見る部落問題（阿南重幸）
	11	12月10日 教科書に見る部落問題（阿南重幸）
	12	12月17日 部落の歴史を再考する（阿南重幸）
	13	12月24日 冤罪について、二・三の具体的事例を中心として（藤澤秀雄）
	14	1月7日 冤罪について、二・三の具体的事例を中心として（藤澤秀雄）
	15	1月14日 フィールドワーク「原爆と被差別部落とキリシタン」（阿南重幸）
	16	
キーワード	知識・態度・技能	
教科書・教材・参考書	テキストは用いない。プリント、資料等を配布する。 ビデオ等を使用する。	
成績評価の方法・基準等	レポートの成績、出席状況を考慮して行う。 レポート 70 出席 30	
受講要件（履修条件）		
備考（URL）		
学生へのメッセージ	正確な知識を身に付けるようにしてください。また、毎回配布の資料等は、ファイルにとじて、持参するようにしてください。	



タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 旧カリ科目**」  
 シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	火3
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	201405900908Q1	科目番号	05900908
授業科目名	●口の健康・体の健康(口と健康)		
編集担当教員	村田 比呂司		
授業担当教員名(科目責任者)	村田 比呂司		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	村田 比呂司, 鮎瀬 卓郎, 小山 善哉, 山田 志津香		
科目分類	総合科学科目、A科目 総合科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[教養A棟]A-33		
対象学生（クラス等）	選択科目：工学部、環境科学部		
担当教員Eメールアドレス	村田：hmurata@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	病院本館8階839室		
担当教員TEL	(内線) 村田:7690; 鮎瀬:7713; 山田7678; 小山:7679		
担当教員オフィスアワー	村田：水17:00～18:00		
授業の概要及び位置づけ	義歯による口腔機能の回復、睡眠や呼吸機能障害の原因や治療について学ぶ。また加齢に伴う歯槽骨のコラーゲンの質の変化とその機序を知り、生涯健康な歯や骨を維持するための知識を習得する。東日本大震災での歯科医療支援活動についての意見交換も行う。		
授業到達目標	超高齢社会における義歯の役割および重要性、睡眠や呼吸機能障害の原因や治療、加齢による歯槽骨のコラーゲンの質の変化と抗加齢法、災害時での歯科医療支援活動についての重要性等を説明できる (①⑦⑩)。		
授業方法（学習指導法）	各グループにテーマを与え、これを調査し、発表を行わせる。最後に各教官がまとめとして解説等を行う。		
授業内容	回	内容	
	1	義歯と老年歯科に関するテーマと調査方法等について説明、各グループで調査 (村田)	
	2	各グループで調査 (村田)	
	3	発表会 (村田)	
	4	義歯と老年歯科について解説 (講義) (村田)	
	5	睡眠に関する基礎的な生理機能 (鮎瀬)	
	6	睡眠時無呼吸症候群の病態の理解 (鮎瀬)	
	7	睡眠中の口腔の生理的機能の変化 (鮎瀬)	
	8	睡眠障害が関連する歯科的疾患の病態と最新の治療法 (鮎瀬)	
	9	説明、各グループで調査(山田)	
	10	各グループで調査 (山田)	
11	発表会 (山田)		

	12 歯槽骨のコラーゲンの加齢による変化（講義）（山田）
	13 東日本大震災・福島県での歯科巡回支援活動から学ぶ（小山）
	14 長崎および近隣地域における災害時歯科支援を考える（1）（小山）
	15 長崎および近隣地域における災害時歯科支援を考える（2）（小山）
	16 定期試験
キーワード	超高齢社会・口腔機能・QOL・睡眠・呼吸機能・コラーゲン・災害支援
教科書・教材・参考書	特にないが、興味のある方は「長生きする入れ歯—科学的根拠に基づく知識と治療法（ブルーバックス、早川巖）、およびコラーゲンの話—健康と美をまもる高分子（中公新書、大崎茂芳）を参考にしてください。
成績評価の方法・基準等	定期試験および授業への貢献度により評価します。なお定期試験は記述式とします。授業外学習に充てるべき時間：週平均 2時間位、【成績評価項目】授業内の課題および授業参加度60%、定期試験40%
受講要件（履修条件）	全授業の2/3以上の出席、および定期試験を受けないと成立しません。
備考（URL）	
学生へのメッセージ	疑問点および聞きたいことがあれば、遠慮なく質問してください。





タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 自由選択科目**」  
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	水5
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20140588010101	科目番号	05880101
授業科目名	●男女共同参画のすすめ		
編集担当教員	伊東 昌子		
授業担当教員名(科目責任者)	伊東 昌子		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	伊東 昌子		
科目分類	自由選択科目、総合科学科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[教養A棟]A-24		
対象学生（クラス等）	全学部		
担当教員Eメールアドレス	masako@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	男女共同参画推進センター		
担当教員TEL	095-819-2179		
担当教員オフィスアワー	15～17時		
授業の概要及び位置づけ	男女共同参画・ワークライフバランス・ダイバーシティを通して、社会の一員としてのキャリア形成に役立てる。		
授業到達目標	自分をよく理解すること、自分のやりたいこと、なりたい人物像を知ること。ワークライフバランス・多様性容認の意味を理解し、自分の将来のキャリアに関連付けることができるようになる。		
授業方法（学習指導法）	講義とグループワーク		
授業内容	回	内容	
	1	自己紹介と自分を知るためのワーク ーあなたはコントローラー、プロモーター、サポーター？ー	
	2	ワークライフバランスとダイバーシティ	
	3	男女共同参画の現状と未来	
	4	これまでの振り返りとグループワーク（知ってためになる進め方）	
	5	乳幼児の心身の発育・発達	
	6	思春期の心身の発育・発達	
	7	育児は育自、介護は介互	
	8	なぜ、日本女性の社会進出が遅れたのか？	
	9	環境や制度が完璧なら、社会で女性は活躍できるか？	
	10	男性の育児休暇取得について考える	
	11	ライフロールについて	
12	キャリアアンカーについて		

	13	キャリアアンカー物語
	14	なりたい自分を見つける
	15	幸せを感じる生き方、働き方について（自由討論）
	16	試験
キーワード	男女共同参画、ワークライフバランス、多様性、キャリア形成、自分探し	
教科書・教材・参考書	特になし	
成績評価の方法・基準等	レポート（50%）、テスト（50%）	
受講要件（履修条件）	特になし	
備考（URL）	<a href="http://nagasaki-ajisai.jp">http://nagasaki-ajisai.jp</a> 、 <a href="http://www.gender.go.jp">http://www.gender.go.jp</a>	
学生へのメッセージ	男女共同参画という難しいタイトルですが、なりたい自分を見つける、また社会生活において他の人の考え方を容認することの重要性を一緒に考え、これから社会人になっていくみなさんために有意義な講義にしていきたいと思います。	



タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 自由選択科目**」  
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	水5
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20140590090502	科目番号	05900905
授業科目名	●平和講座		
編集担当教員	戸田 清		
授業担当教員名(科目責任者)	戸田 清		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	戸田 清, 冨塚 明, 国武 雅子, 関口 達夫		
科目分類	自由選択科目、総合科学科目、A科目 総合科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[教養C棟]C-16		
対象学生（クラス等）	全学部 1年、2年、3年、4年		
担当教員Eメールアドレス	toda@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	環境科学部4階環404戸田教員室		
担当教員TEL	095-819-2726		
担当教員オフィスアワー	金曜16-17時		
授業の概要及び位置づけ	長崎大学文教キャンパスは三菱兵器製作所大橋工場の跡地であり、ここでは学徒動員令や女子挺身隊動員令などによって動員された多くの若者たちが航空機用魚雷の生産に従事中、原爆によって、その多くが爆死した。敗戦後、日本人は「人間相互の関係を支配する崇高な理想を自覚し、国家再建の基礎を人類普遍の原理に求めて戦争を放棄し、平和を愛する諸国民の公正と信義に信頼して安全と生存を保持しよう」と決意した。本講座は、その決意を受け継ぎ、平和を愛し探究心に富む学生諸君の思索と生活の原点に資すべく、戦争・暴力・平和についての基礎的資料と基本的な分析理論を提供しようとするものである。		
授業到達目標	戦争の実態、暴力と平和についての認識を深め、世界の情勢を深く理解し、基本的人権を尊重して自由と平和と平等を愛する文化国家の建設に努める態度を身につける。		
授業方法（学習指導法）	各講義ごとに、担当講師が講義に使用するプリントを用意し、講義を行う。講師によっては、ビデオ・DVD・スライドなども利用する。		
授業内容	講義内容は多岐にわたるので、以下のように各講師がそれぞれテーマを掲げて講義する。		
	回	内容	
	1	10月1日 戸田 ナガサキから平和学する 原爆の非人道性と違法性	
	2	10月8日 国武雅子 女性の戦争協力	
	3	10月15日 国武 銃後の生活	
	4	10月22日 国武 日本軍「慰安婦」問題①	
	5	10月29日 国武 日本軍「慰安婦」問題②	
	6	11月5日 戸田 日独の戦争犯罪	
	7	11月12日 戸田 米国の戦争犯罪 原爆、枯葉作戦、劣化ウラン弾	
8	11月19日 小峰秀孝 私の被爆・被爆後体験		

	9	11月26日 山崎年子 二重被爆の父と生きる
	10	12月3日 富塚明 核兵器廃絶運動と原爆症認定裁判
	11	12月10日 富塚 日米安保体制と原発
	12	12月17日 藤田祐幸 福島原発事故
	13	12月24日 藤田 日本の政策と潜在的核武装
	14	1月7日 関口達夫 長崎原爆を報道する①
	15	1月14日 関口 長崎原爆を報道する②
	16	定期試験は行いません
キーワード	昭和史、戦争、暴力、平和、原爆、原発、劣化ウラン、枯葉剤、イラク戦争、構造的暴力	
教科書・教材・参考書	特定の教科書は用いないが、プリント教材を適宜配布し、またスライド、DVD、ビデオなどを利用して、講義の理解を深めるのに役立つ。参考書は高橋・舟越編『ナガサキから平和学する』法律文化社2009年、戸田清『核発電を問う』法律文化社2012年、など。	
成績評価の方法・基準等	出席を欠かさず、受講することを重視する立場から、講義への取り組みの積極性と担当講師が課したレポートの作成を総合的に評価する。	
受講要件（履修条件）	受講要件は特にない。	
備考（URL）	<a href="http://todakiyosi.web.fc2.com/">http://todakiyosi.web.fc2.com/</a>	
学生へのメッセージ	被爆地の大学に学ぶ学生として、書籍、新聞、テレビ、インターネットなどを通じて戦争と平和、暴力と平和をめぐる世界と日本の動向に関心を持ってほしい。	



タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 旧カリ科目**」  
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	火3
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	201405690014Q2	科目番号	05690014
授業科目名	●暮らしと地球環境学(工学から見た安全安心(エネルギーと自然))		
編集担当教員	金丸 邦康		
授業担当教員名(科目責任者)	金丸 邦康		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	金丸 邦康, 山口 朝彦, 桃木 悟		
科目分類	総合科学科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[教養A棟]A-42		
対象学生（クラス等）	医学部、歯学部、工学部、環境科学部		
担当教員Eメールアドレス	kkane@nagasaki-u.ac.jp, momoki@ // ,tomo@ //		
担当教員研究室	工学部 1号館 3階 基礎エネルギー工学G研究室		
担当教員TEL	095-819-2532(金丸)/2528(桃木)/2531(山口)		
担当教員オフィスアワー	火曜：5校時（事前にe-mailで、予約するのが望ましい。）		
授業の概要及び位置づけ	東日本大震災後の日本のエネルギーのあり方を考えるために、日本のエネルギー事情、資源(食料、化石燃料、レアメタル、鉄など)の今後、国民生活とエネルギー需給、IPCCの報告書をめぐる環境問題の捉えかたを、安全の問題を踏まえてテーマとする。		
授業到達目標	日本と世界のエネルギーと資源の基本問題が説明できること。自分なりの問題解決策の第1歩を提案できること。		
授業方法（学習指導法）	教員提示の資料や受講者が集めた資料などに基づき、講義を展開する。		
授業内容	回	内容	
	1	概説,準備,アンケート	
	2	エネルギーとは: そもそもエネルギーとは何なのか, どのくらい重要なのかについて, それを"定量的"に議論する最低限の素養を身につけるための講義を行う。	
	3	エネルギーに関する歴史: 需要と供給について定量的に考え方を交えながら, エネルギー利用技術と社会の状況に関する歴史について講義する。	
	4	エネルギーの利用に関する2つの視点: エネルギーの変換や動力の生成等の供給側からの視点と, 電力の需要や熱の需要といった利用者側からの視点について, 講義する。	
	5	国内のエネルギー事情(1): ここ数年の日本国内のエネルギー事情に関し講義する。	
	6	国内のエネルギー事情(2): 日本機械学会動力エネルギー技術部門の動向を踏まえた最新の状況について講義する。	
	7	世界と日本の天然資源: 化石燃料を中心に分布とその移動を概観する。	
	8	最近注目される天然資源: シェールガス, メタンハイドレイド, レアメタルに関する最近の情報を集め, 議論する。	
9	食料資源と水資源: 人口問題と食料資源・水資源との関係を, 国内および世界の問題と		

	して把握する。
	10 安定性の数学モデル：人に安心感を与える自然現象の安定性とは、数学的モデルにおいてどのような特性があるのか？ 物質拡散の予測モデル：有害物質の拡散現象を、どのように予測することができるのか？
	11 IPCC第5次評価報告の概要 Working Group I：気候変動の概況と予測、およびその科学的根拠を講義する。
	12 IPCC第5次評価報告の概要 Working Group II：気候変動の影響を講義する。
	13 IPCC第5次評価報告の概要 Working Group III：気候変動の緩和策を議論する。
	14 IPCCの報告書をめぐる環境問題の捉えかた：IPCC評価報告書の社会への影響とさまざまな意見を議論する。
	15 持続的社会に向けての取り組み：省エネルギー対策、再生可能エネルギーの開発、原子力の現状などを議論する。
	16 定期試験
キーワード	環境問題，化石燃料，原子力，エネルギーの質，食料増産
教科書・教材・参考書	担当教員が，適時資料を配布するか，または，受講者各自にdownloadしてもらうURLを知らせる。
成績評価の方法・基準等	毎回の講義出席を原則とし，定期試験（70%）,3回のレポート（30%）で総合評価する。
受講要件（履修条件）	
備考（URL）	
学生へのメッセージ	



タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 旧カリ科目**」  
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	月3
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	201405690022Q1	科目番号	05690022
授業科目名	●大学生のための育児学(大学生の育児学)		
編集担当教員	大石 和代		
授業担当教員名(科目責任者)	大石 和代		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	大石 和代, 永橋 美幸, 上野 美穂		
科目分類	総合科学科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[教養A棟]A-24		
対象学生（クラス等）	1年, 2年, 3年, 4年		
担当教員Eメールアドレス	k-oishi@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	医学部保健学科5階		
担当教員TEL	095-819-7980		
担当教員オフィスアワー	質問等ある場合は大石教員アドレス（上記参照）までEメールで連絡して下さい。		
授業の概要及び位置づけ	自分がどうやって育ってきたかに気付き、親への感謝を持ち、生命をつなぐ役割の大切さを理解して、人間として成長する。		
授業到達目標	<p>妊娠・出産・育児での男女の役割について説明できる。 胎児・乳幼児の発育・発達と養護について説明できる。 育児技術を実施できる。 男女ともに子育てしやすい社会について考えることができる。</p>		
授業方法（学習指導法）	オムニバスによる講義・演習		
授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. イントロダクション～生命をつなぐ～（大石）</li> <li>2. 妊娠中からの親子のコミュニケーション（荒木）</li> <li>3. 妊婦体験とマザーリングマザー（荒木）</li> <li>4. 出産（大石）</li> <li>5. 出産後の親子のコミュニケーション（大石）</li> <li>6. 出産後の父親・母親のメンタルヘルス（大石）</li> <li>7. 新生児の能力と養護（荒木）</li> <li>8. 乳幼児の心身の発育・発達（荒木）</li> <li>9. 乳幼児の遊び（上野）</li> <li>10. 乳幼児の病気（上野）</li> <li>11. 乳幼児の事故（上野）</li> <li>12. 乳幼児の緊急時対策と応急措置（上野）</li> <li>13. 男性と子育て（外来講師：イクメンパパ）</li> <li>14. 女性と子育て（外来講師：子育てママ）</li> <li>15. まとめ（大石、荒木、上野）</li> <li>16. 試験</li> </ol>		

キーワード	妊娠・出産・育児、胎児・新生児・乳幼児、育児技術、男女共同
教科書・教材・参考書	毎回、講義資料を配布する。
成績評価の方法・基準等	小テスト：50% 課題レポート：20% プレゼンテーション：30%
受講要件（履修条件）	
備考（URL）	
学生へのメッセージ	





タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 自由選択科目**」  
 シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	水5
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20140569062802	科目番号	05690628
授業科目名	●長崎学		
編集担当教員	姫野 順一		
授業担当教員名(科目責任者)	姫野 順一		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	姫野 順一		
科目分類	自由選択科目、総合科学科目		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	講義科目
教室	[教養A棟]A-21		
対象学生（クラス等）	全学部		
担当教員Eメールアドレス	himeno@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室			
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	授業終了後(水：17：50－19：00)		
授業の概要及び位置づけ	長崎の多様な機能と歴史的成り立ちを長崎学という地域学の体系で理解する。		
授業到達目標	長崎検定に挑戦できる学生の育成をめざす。		
授業方法（学習指導法）	文書、絵画、古写真、器物などに触れながら、長崎を体系的に学習する。		
授業内容	回	内容	
	1	地域学としての長崎学	
	2	長崎の誕生日:開港記念日論争をめぐって	
	3	南蛮船の来たころ：南蛮貿易と南蛮文化	
	4	唐人貿易と長崎	
	5	唐人文化の流入	
	6	出島の誕生とその役割	
	7	蘭学の発展	
	8	出島の科学	
	9	長崎版画に見る長崎のエキゾチシズム	
	10	長崎開港と外国人居留地の形成	
	11	坂本龍馬の長崎訪問	
	12	写真術の伝来	

	13	幕末の長崎と近代化：写された幕末の長崎
	14	明治初期の長崎：写された長崎の文明開化
	15	明治中期の長崎：NHK市川森一ドラマ「蝶々さん」について考える
	16	産業遺産に見る長崎の近代化
キーワード	日蘭交渉、日中交渉、出島、蘭学、通詞、古写真、居留地、坂本龍馬、長崎学	
教科書・教材・参考書	参考書：姫野順一編『出島と西南雄藩』（九州大学出版会）、姫野順一著『龍馬が見た長崎』（朝日選書）、姫野順一著『古写真に見る幕末明治の長崎』（明石書店）、『新長崎市史』（長崎市）	
成績評価の方法・基準等	毎回講義の概要をまとめ講義に対する感想を書いて提出する。 長崎に関するテーマを自分で決めて、最終レポートを提出する。	
受講要件（履修条件）		
備考（URL）		
学生へのメッセージ	図書館の郷土資料コーナーやネットで関連することを調べる習慣をつける。	

